

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	熊本県こども総合療育センター		
○保護者評価実施期間	令和7年12月11日		～ 令和8年1月9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和8年1月8日		～ 令和8年1月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・小児科、整形外科が併設してあり医療と福祉の連携を密に行っております。	・定期的内科検診、歯科検診をセンター内で行っております。 ・主治医、担当リハセラピスト、くまのご園職員でカンファレンスを行い、情報共有を行っております。 ・緊急時には迅速に外来に繋がります。	・今後も医療とより緊密に情報共有を行い、連携を強化して参ります。
2	・TEACCHプログラムの考えを取り入れた支援を行っております。 ・PECSやソーシャルストーリーなどエビデンスに基づいた支援を行っております。 ・アセスメントを行い、個々に応じた個別支援を提供しております。	・職員が最新のTEACCHプログラムの研修を受け、支援に活かしております。 ・個々の特性に応じた視覚支援を行っております。 ・インフォーマルなアセスメント(保護者や関係機関からの情報)とフォーマルなアセスメント(各種発達検査)を行い、お子様に最適な支援を提供できるようにしております。	・今後も職員が研修を受講することで知識・技術の向上を図り、お子様たちの支援に役立てて参ります。
3	・思い切り身体を動かして運動できるサーキットや、ソフトルーム、リラクゼーションができるスヌーズレンなどの設備があります。	・それぞれのエリアは毎日消毒を行い、清潔に管理しております。また、定期的に設備の点検をして安全に使用できるようにしております。 ・実際に活動しながらお子様に安全な使用法を指導しております。	・お子様の発達段階に応じた運動や運動するときのルールの学習を提供して参ります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	古くなってきている設備があります。	高額な設備のため、更新のための予算の確保が難しいことがあります。	・優先順位をつけて、設備の必要な修繕、更新を行って参ります。 ・安全点検を綿密に行い安心して使用いただけるようにして参ります。
2			
3			